

単元でつきたい力（ステップシートの項目）

（教科等でつきたい力）

- ・季語や切れ字、表現技法など、俳句を詠む上で必要な基本的な知識を身に付ける。
- ・俳句を詠んだり、創作したりする楽しさを知る。
- ・作者の背景から俳句を読み取る。
- （学校図書館等の活用でつきたい力）
- ・季語や句切れなどを探す。
- ・教科書に記載されている俳句以外の作品を知る。

本単元で育む主な情報活用能力

C－STEP4, H－STEP4

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開（全5時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (2時間)	・俳句を、情景を想像しながら音読する。 ・季語や句切れなど、俳句の基本的な約束事を知る。
第2次 (2時間)	・指定された俳句について調べ、その俳句の解釈を考える。（☆）（本時） ・自分なりの解釈をロイロノートを使って発表する。
第3次 (1時間)	・俳句を創作する。

本時のねらい

- ・俳句について調べ、その俳句の解釈を考える。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (10分)	1. 前時の復習と本時の学習内容の確認する。 ・前時に学習した季語や句切れについて復習する。 ・本時のめあての確認をする。	
展開 (35分)	2. 俳句について色々な観点から調べる。 ・4人班に分かれて、各班9つの俳句から1つずつ選ぶ。 ・「歳時記」などの本を使い、俳句について調べる。 【調べるポイント】 季語、季節、表現技法、語句の意味、時、場所、着目したい語句 など	・教科書に掲載されている9つの俳句を利用する。 ・歳時記と俳句に関する本を準備し、各班に配付する。
まとめ (5分)	3. 調べたことをもとに俳句の解釈を考える。 ・自分なりの俳句の解釈を考える。 ・調べたことや解釈についてプリントにまとめる。	・当時の作者や歴史的な背景なども考慮しながら解釈を考えさせるようにする。
	4. 本時の振り返りと次時の学習の見通しをもつ。 ・本時の振り返りを行う。 ・次回の授業の確認を行う。 ・調べた内容をロイロノートでまとめて発表する。	

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・知識の習得や説明に偏ってしまわないように俳句の授業を調べ学習にすることで、生徒たちは俳句や作者に、より興味をもって取り組んでいた。
- ・自分なりの解釈をすることで、俳句は「読む人の自由な解釈を補って鑑賞できる」という筆者の考えを理解することができた。

「着目すべき語句」

- ・私たちは、この俳句の着目すべき語句は「一人」だと考えました。↓
- ・この部分から、『咳をしても誰も心配してくれない一人の寂しさ』が読み取れると考えました。



調べたことをもとに作成した発表資料